

松井健先生
業 績 一 覧
(2015 年 03 月現在)

I 単著書

- 1980 『パシュトゥン遊牧民の牧畜生活——北東アフガニスタンにおけるドゥラニ系パシュトゥン族調査報告——』京都大学人文科学研究所調査報告 第33号, 京都大学人文科学研究所, ii+195 pp.
- 1983 『自然認識の人類学』どうぶつ社(東京), 340 pp.
- 1989 『セミ・ドメスティケーション——農耕と遊牧の起源再考——』海鳴社(東京), 244 pp.
- 1989 『琉球のニュー・エスノグラフィー』人文書院(京都), 281 pp.
- 1991 『認識人類学論攷』昭和堂(京都), ix+231+12 pp.
- 1997 『自然の文化人類学』東京大学出版会(東京), xiii+213+v pp.
- 1998 『文化学の脱=構築——琉球弧からの視座——』榕樹書林(宜野湾), 232+vi pp.
- 2000 『西南アジア遊牧民族記』歴博ブックレット 第15巻, 国立歴史民俗博物館, 94 pp.
- 2001 『遊牧という文化——移動の生活戦略——』歴史文化ライブラリー 第109巻, 吉川弘文館(東京), 213 pp.
- 2005 『柳宗悦と民藝の現在』歴史文化ライブラリー 第196巻, 吉川弘文館(東京), 227 pp.
- 2011 『新版 セミ・ドメスティケーション——農耕と遊牧の起源再考——』ヒトと動物選書, エイエヌ(東京), 280 pp.
- 2011 『西南アジアの砂漠文化——生業のエートスから争乱の現在へ——』東京大学東洋文化研究所/人文書院(京都), 682 pp.
- 2014 『民藝の擁護——基点としての〈柳宗悦〉——』里文出版(東京), 227 pp.
- 2014 『金城次郎とヤチムン』榕樹書林(宜野湾), 頁数未定.

II 編著書

- 2000 『自然観の人類学』榕樹書林(宜野湾), 445 pp.
- 2000 『東洋文化 第80号 インド亜大陸の宗教・民族紛争』東京大学東洋文化研究所, iii+228 pp.
- 2002 『開発と環境の文化学——沖縄地域社会変動の諸契機——』榕樹書林(宜野湾), 378 pp.
- 2002 『講座 生態人類学 第6巻 核としての周辺』京都大学学術出版会(京都), vii+224 pp.
- 2004 『島の生活世界と開発 第3巻 沖縄列島——シマの自然と伝統のゆくえ——』東京大学出版会(東京), viii+236 pp.
- 2004 (大塚柳太郎・篠原 徹との共編著) 『島の生活世界と開発 第4巻 生活世界からみる新たな人間-環境系』東京大学出版会(東京), viii+207 pp.
- 2005 (Saroj Aungusmalin と共編著) *Multiply Useful Plants: Uses and Usefulness*. The Head Office of the

- Project on “Distribution and Sharing of Resources in Symbolic and Ecological Systems: Integrative Model-building in Anthropology”, Tokyo University of Foreign Studies, 188 pp.
- 2006 (堀内正樹と共編著)『講座 世界の先住民民族 ファースト・ピープルズの現在 第4巻 中東』明石書店(東京), 338 pp.
- 2007『研究彙報(第1号〜第16号合冊)』特定領域研究・資源人類学・計画研究「自然資源の認知と加工」班, 東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室, 425 pp.
- 2007『資源人類学 第6巻 自然の資源化』弘文堂(東京), 347 pp.
- 2008『民博通信 第123号 生業と生産の社会的布置からのアプローチ』国立民族学博物館, 17 pp.
- 2011(名和克郎・野林厚志との共編著)『グローバリゼーションと〈生きる〉世界——生業からみた人類学的現在——』東京大学東洋文化研究所／昭和堂(京都), xi+477+xvi pp.
- 2012(野林厚志・名和克郎との共編著)『生業と生産の社会的布置——グローバリゼーションの民族誌のために——』国立民族学博物館論集1, 岩田書院(東京), 418 pp.

III 論文

- 1975「民俗分類の構造——南西諸島の場合——」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第6巻第1号, pp. 3-68.
- 1975「民俗分類の機能——南西諸島の場合——」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第6巻第2号, pp. 84-124.
- 1976「トゥムブウェ族の諸相——広域調査の結果から——」『アフリカ研究』, 日本アフリカ学会, 第15号, pp. 24-37.
- 1977「トゥムブウェ族の民族動物学——エコロジーとエピステモロジーの間で——」伊谷純一郎・原子令三 共編著『人類の自然誌』, 雄山閣(東京), pp. 539-623.
- 1977「民俗分類と自然観」黒潮文化の会 編『日本民族と黒潮文化——黒潮の古代史序説——』, 角川書店(東京), pp. 255-269.
- 1978「フォーク・カテゴリーの位相問題——フィリピン・バタン島における民俗分類の研究から——」『民族学研究』, 日本民族学会, 第43巻第1号, pp. 18-38.
- 1979「エスノ・サイエンスとフォーク・タクソノミー——その方法論的諸問題——」谷 泰 編著『人類学方法論の研究』, 京都大学人文科学研究所, pp. 1-64.
- 1979「ブリコラージュ考——レヴィ=ストロース『野生の思考』における自然と文化——」『人文学報』, 京都大学人文科学研究所, 第47号, pp. 255-267.
- 1980 Studies in Ryukyu Folk Biology I: Ethno-conchology of the Ryukyu Archipelago. *Zinbun*, Institute for Humanistic Studies, Kyoto University, 16, pp. 57-41.
- 1980 Studies in Ryukyu Folk Biology II: Kurima Ethno-ichthyology. *Zinbun*, Institute for Humanistic Studies, Kyoto University, 17, pp. 39-105.

- 1980 The Pastoral Life of the Durrani Pashtun Nomads in Northeastern Afghanistan. Tani, Yutaka ed. *Preliminary Report of Comparative Studies on the Agrico-Pastoral Peoples in Southwestern Eurasia 1978*, Research Group for Comparative Studies on the Agrico-Pastoral Peoples in Southwestern Eurasia, Research Institute for the Humanistic Studies, Kyoto University, pp. 1–31.
- 1980 「バタン島の民族植物学——エスノ・サイエンスの比較研究にむけて——」黒潮文化の会 編『黒潮の民族・文化・言語』, 角川書店(東京), pp. 52–87.
- 1982 「動・植物の民俗分類」合田 濤 編『現代のエスプリ別冊 現代の文化人類学 2 認識人類学』, 至文堂(東京), pp. 20–46.
- 1984 「トゥムブウェ族の民族動物学におけるエコロジーとエピステモロジー」伊谷純一郎・米山俊直 共編著『アフリカ文化の研究』, アカデミア出版会(京都), pp. 281–336.
- 1984 「19世紀アフガニスタン・バルーチスタンの遊牧民」永田雄三・杉原正毅 共編著『イスラム世界の人びと 3 牧畜民』, 東洋経済新報社(東京), pp. 151–181.
- 1984 「Baluch nomadism 再考」『西南アジア研究』, 西南アジア学会, 第23号, pp. 47–61.
- 1986 「儀礼と口承伝承——宮古群島来間島の事例を中心に——」伊藤幹治 編『国立民族学博物館研究報告別冊 第3号 奄美・沖縄の宗教的世界』, 国立民族学博物館, pp. 37–73.
- 1987 「家畜群構成と牧畜経営類型——アフガニスタンの牧畜諸族に関する民族誌的覚え書き——」谷 泰・福井勝義 共編著『牧畜文化の原像』, 日本放送出版協会(東京), pp. 245–282.
- 1987 Pastoral Nomadism as an Economic Adaptation. Tani, Yutaka and Sadao Sakamoto eds. *Domesticated Plants and Animals of the Southwest Eurasia Agro-pastoral Culture Complex II*, Kyoto University, pp. 43–67.
- 1987 「錯綜のバルーチスタン」『海外事情』, 拓殖大学海外事情研究所, 第35巻第3号, pp. 52–67.
- 1987 Agricultural Makran. Sakamoto, Sadao ed. *A Preliminary Report of the Studies on Millet Cultivation and Its Agro-Pastoral Complex in Indian Subcontinent 1985*, Kyoto University, pp. 89–103.
- 1987 「言述の論理とその背景」谷 泰 編『社会的相互行為の研究』, 京都大学人文科学研究所, pp. 193–237.
- 1987 「人類学の言語論」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第19巻第1号, pp. 59–67.
- 1987 Research on the Ryukyus: Progress and Problems. *Current Anthropology*, vol. 28 no. 4, pp. 94–96.
- 1987 「(パキスタン)乾燥地域の伝統的生業」小西正捷 編『もっと知りたいパキスタン』, 弘文堂(東京), pp. 272–286.
- 1988 「認識人類学と学習」『教育と医学』, 教育と医学の会, 慶應通信会(東京), 第36巻第6号, pp. 78, 85–90.
- 1989 「認識人類学と象徴人類学」松原正毅 編『人類学とは何か——言語・儀礼・象徴・歴史——』, 日本放送出版協会(東京), pp. 305–334.
- 1989 Nomadism and Pastoralism in the Desert Area on the India-Pakistan Border. Sakamoto, Sadao ed. *A*

- Preliminary Report of the Studies on Millet Cultivation and Its Agro-Pastoral Complex in Indian Sub-continent 1987*, Kyoto University, pp. 95–132.
- 1990 「アフガニスタン紛争の文化的要因」『海外事情』, 拓殖大学海外事情研究所, 第 38 卷第 12 号, pp. 49–64.
- 1990 「西南アジアにおける乳製品とその加工技術」『ヘルス・ダイジェスト』, 雪印乳業健康生活研究所, 第 5 卷第 4 号, pp. 1–6.
- 1990 「ラージャスターンの阿片」『人文学部紀要』, 神戸学院大学人文学部, 第 1 号, pp. 37–50
- 1991 「バルーチ族のヤシ文化」田中二郎・掛谷 誠 共編著『ヒトの自然誌』, 平凡社 (東京), pp. 193–212.
- 1991 「バルーチスターン・マクラーン地方の農業と社会」阪本寧男 編著『インド亜大陸の雑穀農牧文化』, 学会出版センター (東京), pp. 279–343.
- 1992 「ものと名前の人類学」『年報 人間文化 H&S』, 神戸学院大学人文学部, 第 2 号, pp. 18–24.
- 1992 「詩と民俗誌——記述と喚起力をめぐって——」『社会人類学年報』, 東京都立大学社会人類学会, 弘文堂 (東京), 第 18 卷, pp. 1–32.
- 1992 「西南アジアの乳製品とその加工技術」雪印乳業健康生活研究所 編『乳利用の民族誌』, 中央法規 (東京), pp. 44–56.
- 1993 「インド北西辺境における性愛のテーマ」須藤健一・杉島敬志 共編著『性の民族誌』, 人文書院 (京都), pp. 76–97.
- 1994 「薬のコスモロジー——伝統社会における治癒のメカニズム——」『薬・自然・文化』, 昭和薬科大学, 第 3 号, pp. 43–67.
- 1994 「コスモロジーの類型論——民俗分類の視点から——」『東洋文化研究所紀要』, 東京大学東洋文化研究所, 第 125 卷, pp. 369–409.
- 1995 「イスラームと自然環境」竹下政孝 編『講座 イスラーム世界 第 4 卷 イスラームの思考回路』, 栄光教育文化研究所, 株式会社栄光 (東京), pp. 365–399.
- 1995 「分泌=排泄物の文化地理学——オードリクール再検——」『国立歴史民俗博物館研究報告』, 国立歴史民俗博物館, 第 61 卷, pp. 171–185.
- 1997 「分類と命名」『月刊言語 特集: 命名の世界』, 大修館書店 (東京), 第 26 卷第 4 号 (4 月号), pp. 20–26.
- 1997 「西アジアにおける人間と動物」国立歴史民俗博物館 編『動物と人間の文化誌』, 吉川弘文館 (東京), pp. 70–98.
- 1998 「カイコガのドメスティケーションをめぐって——東アジア的ドメスティケーション? 中国的ドメスティケーション? ——」福島県立博物館編『天の絹糸——ヒトと虫の民俗誌——』, 福島県立博物館, pp. 120–125.
- 1998 「遊動と定住の社会学」『歴博 特集: 移る』, 国立歴史民俗博物館, 第 87 号 (3 月 20 日号), pp. 4–8.

- 1998 「文化と認識」青木 保ほか 編『岩波講座 文化人類学 第13巻 文化という課題』, 岩波書店(東京), pp. 205-227.
- 1998 「マイナー・サブシステムの世界——民俗世界における労働・自然・身体——」篠原徹 編『現代民俗学の視点 第1巻 民俗の技術』, 朝倉書店(東京), pp. 247-268.
- 1998 「周辺性と民族的自立——パシトゥーン人とバルーチエ人の例から——」清水昭俊 編『周辺民族の現在』, 世界思想社(京都), pp. 109-127.
- 1999 「自己家畜化の並行現象?——ナツメヤシ・オアシスへの人間の『寄生』——」『創造の世界』, 小学館(東京), 第110号(春号), pp. 78-92.
- 1999 「遊牧の文化的特質についての試論——西南アジア遊牧民を中心として——」松原正毅・小長谷有紀・佐々木史郎 共編著『国立民族学博物館研究報告 別冊 第20号 ユーラシア遊牧社会の歴史と現在』, 国立民族学博物館, pp. 493-517.
- 2000 「ズィクリーはムスリムか?——パキスタン・マクラーン地方における宗教問題の重層性——」松井 健 編著『東洋文化 第80号 インド亜大陸の宗教・民族紛争』, 東京大学東洋文化研究所, pp. 191-228.
- 2000 「認識人類学からみた方言語彙」室山敏昭 編著『方言語彙論の方法』, 和泉書院(大阪), pp. 61-75.
- 2000 「西南アジア牧畜民のヒト・家畜関係——とくに, 家畜の『文化』をめぐる——」松井 健 編著『自然観の人類学』, 榕樹書林(宜野湾), pp. 289-308.
- 2000 「琉球の離島環境史・序説」松井 健 編著『自然観の人類学』, 榕樹書林(宜野湾), pp. 407-437.
- 2001 「沖縄地域での調査研究からわかってきた若干のこと」『アジア太平洋の環境・開発・文化』, 東京大学大学院医学系研究科人類生態学分野 未来開拓大塚プロジェクト事務局, 第2号, pp. 1-3.
- 2001 「自然と環境の人類学」東京大学東洋文化研究所 編『アジアを知れば世界が見える』, 小学館(東京), pp. 330-341.
- 2001 「マイナー・サブシステムと琉球の特殊動物——ジュゴンとウミガメ——」『国立歴史民俗博物館研究報告』, 国立歴史民俗博物館, 第87号, pp. 75-90.
- 2002 「部族社会からカースト制へ——ラージャスターンにおける社会=宗教複合の変容——」関根康正 編著『南アジア地域における経済自由化と「宗教空間」の変容に関する人類学的研究——生活宗教に探る「宗教対立」の解消の方途——(課題番号: 11691062)』, 平成11年度~平成13年度科学研究費補助金[基盤研究(A)(2)]研究成果報告書, pp. 29-43.
- 2002 「沖縄の焼物における伝統の問題——工藝の人類学のために——」記念論集刊行会(代表 朝岡康二) 編『琉球・アジアの民俗と歴史——国立歴史民俗博物館比嘉政夫教授退官記念論集——』, 榕樹書林(宜野湾), pp. 391-414.
- 2002 「マイナー・サイエンスとしての生態人類学」松井 健 編著『講座 生態人類学 第6巻

- 核としての周辺』, 京都大学学術出版会 (京都), pp. 195-217.
- 2002 「『人間-環境系』概念の構想」『年報 人間文化 H&S』, 神戸学院大学人文学会, 第 17 号, pp. 55-62.
- 2002 「自己家畜化の認知的側面」尾本恵市 編著『人類の自己家畜化と現代』, 人文書院 (京都), pp. 61-82.
- 2002 「人間-環境系の沖縄的特質」松井 健 編著『開発と環境の文化学——沖縄地域社会変動の諸契機——』, 榕樹書林 (宜野湾), pp. 19-61.
- 2003 「笑いの始原とその『文化』化」『笑いの想像力——笑わせるヒトと笑うモノの博物誌——』, 福島県立博物館, pp. 14-19.
- 2003 「自然にまどろむ——生活の質の人類学のために——」東京大学東洋文化研究所 編『アジア学の将来像』, 東京大学出版会 (東京), pp. 355-379.
- 2003 「空間の本源的占有とその前後——“自然”と“所有”についてのノート (1) ——」松井 健 編『研究彙報』特定領域研究「資源の分配と共有に関する人類学的統合領域の構築——象徴系と生態系の連関をとおして——」計画研究「自然資源の認知と加工」班, 東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室, 第 3 号, pp. 3-10.
- 2004 「マイナー・サブシステムと環境のハビトゥス化」松井 健 編著『島の生活世界と開発 第 3 卷 沖縄列島——シマの自然と伝統のゆくえ——』, 東京大学出版会 (東京), pp. 103-126.
- 2004 「マイナー・サブシステムと日常生活——あるいは方法としてのマイナー・サブシステム論——」大塚柳太郎・篠原徹・松井 健 共編著『島の生活世界と開発 第 4 卷 生活世界からみる新たな人間-環境系』, 東京大学出版会 (東京), pp. 61-84.
- 2004 「那覇の層位学——〈都市的なるもの〉の南島の形姿をめぐって——」関根康正 編著『〈都市的なるもの〉の現在——文化人類学的考察——』, 東京大学出版会 (東京), pp. 134-161.
- 2005 「マイナー・サブシステムについて」松井 健 編『研究彙報』特定領域研究「資源の分配と共有に関する人類学的統合領域の構築——象徴系と生態系の連関をとおして——」計画研究「自然資源の認知と加工」班, 東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室, 第 8 号, pp. 3-6.
- 2005 Cognitive and Material Worlds of the Baluch Oasis Farmers of Pakistan Baluchistan. Matsui, Takeshi and Saroj Aungusmalin eds. *Multiply Useful Plants: Uses and Usefulness*. The Head Office of the Project on “Distribution and Sharing of Resources in Symbolic and Ecological Systems: Integrative Model-building in Anthropology”, Tokyo University of Foreign Studies, pp. 32-42.
- 2005 「所有の外延についての比較社会誌的覚え書き」『環境社会学研究』, 環境社会学会, 第 11 号, pp. 88-102.
- 2005 「遊牧の二類型とその意味——生業の複合性についての人類学的覚え書き——」松原正毅・小長谷有紀・楊 海英 共編著『ユーラシア草原からのメッセージ——遊牧研究の最前線——』, 平凡社 (東京), pp. 105-134.

- 2005 「二人の柳宗悦——テキストの背後をめぐって——」熊倉功夫・吉田憲司 共編著『柳宗悦と民藝運動』, 思文閣出版(京都), pp. 71-91.
- 2005 「生活の質をめぐって——『自然の本源的優越性』のための実践的覚書——」新崎盛暉・比嘉政夫・家中 茂 共編著『地域の自立 シマの力』(上), コモンズ(東京), pp. 112-132.
- 2006 「哺乳類における可能態としての資源利用——“自然”と“所有”についてのノート(2)——」松井 健 編『研究彙報』特定領域研究「資源の分配と共有に関する人類学的統合領域の構築——象徴系と生態系の連関をとおして——」計画研究「自然資源の認知と加工」班, 東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室, 第13号, pp. 13-20.
- 2006 Environmental Problems and Womenfolk in Okinawa. A Paper Presented at the 5th International Symposium of Okinawan Studies, from the 14th to the 17th of September at Venice, Italy.
- 2006 「西南アジア遊牧民と国家——パシュトゥーンの歴史体験をめぐって——」松井 健 編『研究彙報』特定領域研究「資源の分配と共有に関する人類学的統合領域の構築——象徴系と生態系の連関をとおして——」計画研究「自然資源の認知と加工」班, 東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室, 第14号, pp. 19-27.
- 2006 「ドメスティケーションとその関連諸概念——整理と注釈——」『東北学[第2期]』, 東北芸術工科大学東北文化研究センター, 第9巻, pp. 116-123.
- 2006 「パシュトゥーン」松井 健・堀内正樹 共編著『講座 世界の先住民民族 ファースト・ピープルの現在 第4巻 中東』, 明石書店(東京), pp. 250-268.
- 2006 「バルーチとズィクリー——バルーチスターン州の民族・宗教問題——」松井 健・堀内正樹 共編著『講座 世界の先住民民族 ファースト・ピープルの現在 第4巻 中東』, 明石書店(東京), pp. 269-289.
- 2007 「所有の進化論——『自然』と『所有』についてのノート」内堀基光 編著『資源人類学 第1巻 自然と人間』, 弘文堂(東京), pp. 161-182.
- 2007 「序——自然の資源化」松井 健 編著『資源人類学 第6巻 自然の資源化』, 弘文堂(東京), pp. 13-23.
- 2007 「生業資源とその所有——カール・マルクス『先行する諸形態』にならって——」松井 健 編著『資源人類学 第6巻 自然の資源化』, 弘文堂(東京), pp. 317-347.
- 2007 「工芸美の普遍理論は可能か?——柳宗悦の民藝論の検討——」BI(東京大学東洋文化研究所超域連携研究プログラム「アジアの『美』の構築」Annual Report), 東京大学東洋文化研究所, 第1号, pp. 17-35.
- 2007 Environmental Problems and Womenfolk in Okinawa: A Gender Perspective. A Paper Presented at International Symposium on Dialogue between Social and Natural Sciences, from the 26th to 28th of February, at Honolulu, Hawaii, USA.
- 2008 「生業と生産からみる生活世界とグローバリゼーション」松井 健 編著『民博通信 第123号 生業と生産の布置からのアプローチ』, 国立民族学博物館, pp. 2-7.

- 2009 「ムシのセミ・ドメスティケーション」山本紀夫 編著『国立民族学博物館調査報告 第84号 ドメスティケーション——その民族生物学的研究——』, 国立民族学博物館, pp. 247-263.
- 2011 「序章 フィールドワーク, 〈生きる世界〉, グローバリゼーション」松井 健・名和克郎・野林厚志 共編著『グローバリゼーションと〈生きる世界〉——生業からみた人類学的現在——』, 東京大学東洋文化研究所/昭和堂(京都), pp. 1-17.
- 2011 「『前』近代のなかの『反』近代——アフガニスタンという『不幸』の深層——」松井 健・名和克郎・野林厚志 共編著『グローバリゼーションと〈生きる世界〉——生業からみた人類学的現在——』, 東京大学東洋文化研究所/昭和堂(京都), pp. 297-336.
- 2012 「ネパール・カトマンドゥ盆地の陶器焼成窯——その焼成窯進化上の位置をめぐる——」松井 健・窪田幸子共編著『アジア工芸の〈現在〉——工芸と人類学の基礎研究——』, 東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター共同研究報告, pp. 44-50.
- 2012 「序章『生業と生産の社会的布置』と民族誌という企図」松井 健・野林厚志・名和克郎 共編著『生業と生産の社会的布置——グローバリゼーションの民族誌のために——』, 国立民族学博物館論文集1, 岩田書院(東京), pp. 5-25.
- 2012 「スーヴニールの交錯とダイナミズム——アジア工芸の拡散変容の一側面——」松井 健・野林厚志・名和克郎 共編著『生業と生産の社会的布置——グローバリゼーションの民族誌のために——』, 国立民族学博物館論集1, 岩田書院(東京), pp. 239-268
- 2012 「パキスタン——民族の地政学——」立川武蔵ほか 編『朝倉世界地理講座 4 南アジア』, 朝倉書店(東京), pp. 242-251.
- 2013 「美しいものと宗教的なもの——プリミティブ/エスニック・アートから考える——」松井 健ほか『信仰と美のかたち——可視化された神の像——』, 里文出版(東京), pp. 18-34.
- 2014 「晩年の柳宗悦と古丹波——その『自然』をめぐる思索——」『紫明』, 丹波古陶館(篠山), 第35号, pp. 2-6.
- 2015 「書の工芸性についての補論」『民藝』, 日本民藝協会, 第745号(1月号), pp. 51-56.

IV エッセイ・試論など

- 1976 「トゥンプウェ族とシタトゥンガ」『人文』, 京都大学人文科学研究所, 第15号, p. 23.
- 1978 「サバンナ・ウッドランドの自然と環境観——トゥンプウェ族の場合——」石毛直道 編著『環境と文化——人類学的考察——』, 日本放送出版協会(東京), pp. 161-172.
- 1980 「幻想動物の胎生学」『民博通信』, 国立民族学博物館, 第6号, pp. 12-14.
- 1986 「バルーチスタンの風土と生活」『シンポジウム パキスタン'86 砂漠と大河』, 日本・パキスタン協会, pp. 29-31.
- 1987 「『李朝の民芸』観察」『民博通信』, 国立民族学博物館, 第36号, pp. 28-32.
- 1990 「映画『老人と海』礼賛」『民博通信』, 国立民族学博物館, 第50号, pp. 20-25.
- 1990 「ナツメヤシと一体化した民——砂漠とオアシスの小宇宙——」『神戸新聞』, 6月22日。

- 1991 「文化の時代の柳宗悦」『新沖縄文学』、沖縄タイムス社(那覇)、第88号(夏号)、pp. 12-15.
- 1991 「西南アジアにおける遊牧民と都市」『イスラムの都市性研究報告』、文部省科学研究費重点領域研究「イスラムの都市性」事務局、研究会報告編、第27号、pp. 116-143.
- 1992 「文化の時代の柳宗悦」(転載)『民藝』、日本民藝協会、第469号(1月号)、pp. 23-25.
- 1993 「民藝の生きているところで考えたこと」『山陽民藝』、岡山民藝協会、第172号、pp. 3-4
- 1993 「宮古群島のタカ獲り——ひとつの民俗文化の終焉——」『琉球新報』、9月30日、第15面。
- 1994 「サシバ」『月刊みんぱく』、国立民族学博物館、第206号(11月号)、pp. 20-21.
- 1994 「インド北西辺境の〈サガ〉」『月刊百科』、平凡社(東京)、第384巻(10月号)、pp. 19-21.
- 1994 「民藝の現代的課題——インド・ラージャスターンとの対比で——(一)」『民藝』、日本民藝協会、第504号(12月号)、pp. 16-21.
- 1995 「民藝の現代的課題——インド・ラージャスターンとの対比で——(二)(三)」『民藝』、日本民藝協会、第505号(1月号)、pp. 56-59; 第506号(2月号)、pp. 56-61.
- 1995 「イスラーム文化の蔭のナツメヤシの酒」山本紀夫・吉田集而 共編著『酒づくりの民族誌』、八坂書房(京都)、pp. 185-194.
- 1995 「インダス河流域の部族社会における婚外性関係の『偽造』」『UP』、東京大学出版会(東京)、第275号(9月号)、pp. 13-17.
- 1995 「オマーンで見る琉球舞踊(上)(下)」『琉球新報』、12月29日 第9面; 12月30日 第13面。
- 1995 (司会)「討論 高倉の系譜」吉田集而 編『生活技術の人類学——国立民族学博物館 シンポジウムの記録——』、平凡社(東京)、pp. 335-355.
- 1996 「民族誌としての辞書」宮岡伯人 編『言語人類学を学ぶ人のために』、世界思想社(京都)、pp. 95-108.
- 1996 「ものと名前的人类学」宮岡伯人 編『言語人類学を学ぶ人のために』、世界思想社(京都)、pp. 158-174.
- 1997 (小松和彦ほか)「公開討論 人間社会における動物の位置」国立歴史民族博物館 編『動物と人間の文化誌』、吉川弘文館(東京)、pp. 169-226.
- 1997 「原子先生との遭遇」『生態人類学ニュースレター』生態人類学会、第2号「特集: 原子令三氏追悼」、p. 7
- 1998 「フィールドワーク・大使館・石獅子」『学内広報』、第1117号、東京大学広報委員会、p. 8.
- 1998 「人類学からみた自然の領分」『遺伝』、3月号、pp. 4-5.
- 1998 「動物ワンダーランド 西南アジアに行く (1) 砂漠地帯の遊牧民とラクダ」『季刊 Relatio』、リレーションズ(東京)、第1号、pp. 8-11.
- 1999 「動物ワンダーランド 西南アジアに行く (2) 家畜の文化の地域性」『季刊 Relatio』、リレーションズ(東京)、第2号、pp. 10-13.
- 1999 「動物ワンダーランド 西南アジアに行く (3) 動物の戦い」『季刊 Relatio』、リレーションズ

- ズ (東京), 第 3 号, pp. 10–13.
- 1999 「動物ワンダーランド 西南アジアに行く (4) 西南アジア遊牧民と家畜」『季刊 Relatio』, リレーションズ (東京), 第 4 号, pp. 8–11.
- 1999 「人と家畜のかかわりの理念」『人と家畜のかかわりの理念に関する検討会 報告書』, ヒトと動物の関係学会, pp. 47–56
- 1999 (林良博ほか) 「第 2 回 読解討論 自然と Nature——動物観の違いをさぐる——」『人と家畜のかかわりの理念に関する検討会 報告書』, ヒトと動物の関係学会, pp. 57–68.
- 2000 「方法論概念モデル 1——プロジェクトの方法概念の整理と提案——」『アジア・太平洋の環境・開発・文化』, 東京大学大学院医学系研究科人類生態学分野 未来開拓大塚プロジェクト事務局, 第 1 号, pp. 3–5.
- 2000 「マイナー・サブシステム論」『アジア・太平洋の環境・開発・文化』, 東京大学大学院医学系研究科人類生態学分野 未来開拓大塚プロジェクト事務局 (東京), 第 1 号, pp. 23–28.
- 2000 「人間と自然」武部 啓 編著『学術公開講演会 人類の自己家畜化と現代文明 代表者・尾本恵市』, 国際高等研究所 報告書 1999–006, 国際高等研究所, pp. 15–21.
- 2000 「パネル討議 自然と人間の共生を求めて (パネリスト 川田順造・吉田真澄・尾本恵市・武部 啓・桑原未代子・松井 健)」武部 啓 編著『学術航海講演会 人類の自己家畜化と現代文明 代表者・尾本恵市』, 国際高等研究所 報告書 1999–006, 国際高等研究所, pp. 39–54.
- 2001 「より大きな『環境学』を——海中道路の 30 年検証——」『琉球新報』, 8 月 28 日, 第 9 面.
- 2001 「沖縄における環境・開発・文化」『明日の東洋学』, 東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター, 第 6 号, pp. 5–7.
- 2001 「ヒューマン・アニマル・ボンド入門 第 24 回 人間とほかの動物との『関係』」『プロヴェット』, インターズー (東京), 第 166 号, pp. 62–65.
- 2001 「ヒューマン・アニマル・ボンド入門 第 25 回 狩猟民と動物」『プロヴェット』, インターズー (東京), 第 167 号, pp. 56–59.
- 2001 「ヒューマン・アニマル・ボンド入門 第 26 回 ドメスティケーション (馴化) 始まる」『プロヴェット』, インターズー (東京), 第 168 号, pp. 58–61.
- 2001 「ヒューマン・アニマル・ボンド入門 第 27 回 ドメスティケーションと生活様式の展開」『プロヴェット』, インターズー (東京), 第 169 号, pp. 66–69.
- 2002 「シンポジウム 民具と民藝 パネルディスカッション (司会 吉田憲司, パネリスト 神崎宣武・熊倉功夫・松井 健・吉田宏志・竹中 均)」『民族藝術』, 民族藝術学会, 第 18 巻, pp. 35–37.
- 2002 「エンゲルスのアフガニスタン論を読む」『環』, 藤原書店 (東京), 第 8 号, pp. 70–71.
- 2002 「西南アジア遊牧民の牧畜技術」日本西アジア考古学会 編『2001 年度定例研究会 西アジアの動物』, 定例研究会発表資料集, 日本西アジア考古学会, 第 3 集, pp. 1–3.

- 2002 「伊谷先生と賢蔵画伯」『生態人類学ニュースレター』, 生態人類学会, 第7号「特集: 伊谷純一郎先生追悼」, pp. 11-12.
- 2002 「人間-環境系——アジアのなかの沖縄, 沖縄からみるアジア(下)」『琉球新報』, 2月7日。
- 2002 「エスノロジック」綾部恒雄 編『文化人類学 最新術語100』, 弘文堂(東京), pp. 30-31.
- 2002 「新しい視点からの開発と環境(上)」『琉球新報』, 12月11日, 第22面。
- 2003 「サシバ」(再録)『月刊みんぱく』編集部 編『世界民族博物誌』, 八坂書房(東京), pp. 153-155.
- 2003 「ヒューマン・アニマル・ボンドの進化学」桜井富士朗・長田久雄 共編著『「人と動物の関係」の学び方——ヒューマン・アニマル・ボンド研究って何だろう——』, インターズー(東京), pp. 241-268.
- 2003 Development Works and Environment in the Ryukyu Archipelago:A Socio-historical Analysis. (付要旨「沖縄の環境と開発——現況と歴史の分析——」)『成均館大学校東アジア学術院・東京大学東洋文化研究所 共同研究会 東アジア社会研究の方向』, pp. 109-114.
- 2004 「環境問題と『文理融合』」『大学出版』, 日本大学出版部協会(東京), 第61号, pp. 14-17.
- 2004 「民藝の現代的課題(一)」『民藝』, 日本民藝協会, 504号(12月号), pp. 16-21.
- 2005 「民藝の現代的課題(二)(三)」『民藝』, 日本民藝協会, 505号(1月号), pp. 56-59; 506号(2月号), pp. 56-61.
- 2005 「柳宗悦と同時代人」『本郷』, 吉川弘文館(東京), 第59号, pp. 16-18.
- 2006 「等身大の柳宗悦」『別冊太陽 柳宗悦の世界』, 平凡社(東京), pp. 88-89.
- 2007 「人類学はフィールドサイエンスたりうるか?」『通信』, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 第120号, pp. 66-67.
- 2008 「イスラーム文化の陰のナツメヤシの酒」(再録)山本紀夫 編著『増補 酒づくりの民族誌——世界の秘酒・珍酒——』, 八坂書房(京都), pp. 178-185.
- 2008 「沖縄における環境・開発・文化」(再録)東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター 編『アジア学の明日にむけて』, 東京大学東洋文化研究所, pp. 193-203.
- 2009 「生きる喜びとしての民藝」『民藝』, 日本民藝協会, 683号(11月号), pp. 5-9.
- 2012 「民藝の未来形——試論と提案——(上)(下)」『民藝』, 日本民藝協会, 第712号(4月号), pp. 57-61; 第713号(5月号), pp. 45-49.
- 2012 「アジアのなかの沖縄の工芸——焼物を手がかりに考える——」『人文・社会科学を主体とした先端的琉球・沖縄学の次世代研究者の育成・研究推進プロジェクト 成果報告』, 琉球大学国際沖縄研究所, pp. 323-364.
- 2014 「人類学とアフリカを『生きた』旅人」『生態人類学ニュースレター』, 生態人類学会, 第20号 別冊「特集: 掛谷誠先生追悼」, pp. 2-3.

V 報告・レポート・コメントなど

- 1978 「コメント 室山敏昭 編「言語内的うつわと言語外的事実——漁業生活と潮の語彙——」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第9巻第3号, pp. 157-160.
- 1979 「アフガニスタンの遊牧民——ドゥラニ系パシュトゥ族の牧畜——」『アニマ』, 平凡社(東京), 第7巻第5号, pp. 85-91.
- 1979 「イヴァナの日々——バタン島調査ノートから——」黒潮の文化の会 編『新・海上の道——黒潮の古代史探訪——』, 角川選書 103, 角川書店(東京), pp. 88-107.
- 1980 「アフガン遊牧民の生活」『聖教新聞』
- 1981 「羊とくらす高原の人たち——アフガニスタン・パシュトゥン族——」NHK 編『民族の知恵 1 狩猟・織物・住居・遊牧』, 日本放送出版協会(東京), pp. 180-193.
- 1981 「乳製品と遊牧民——アフガニスタンのパシュトゥン遊牧民を中心に——」『専門料理』, 柴田書店(東京), 第15巻第9号, pp. 25-29.
- 1981 「コメント 秋道智弥「嵐の星と自然認識——サタワル島における民族気象学的研究——」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第11巻第4号, pp. 51-57.
- 1982 『急激な社会変動と伝統的部族社会の対応——パキスタン北西辺境州の事例研究から——』昭和56年度トヨタ財団研究助成 研究報告書 73pp.
- 1982 「アフガン遊牧民」篠山紀信『シルクロード 5 パキスタン・アフガニスタン・イラン』, 集英社(東京), pp. 269-273.
- 1982 「コメント 吉田集而『空間認識の類型化について』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第12巻第3号
- 1983 「『ナン』と砂糖をいれない紅茶」石毛直道 編『世界旅行——民族の暮らし 2 食べる飲む』, 日本交通公社出版事業局(東京), pp. 22-33.
- 1984 (高橋博史と共著)「クエッタのハザーラ族」『パーキスターン』, 日本・パキスタン協会, 第80号(10月号), pp. 14-17.
- 1985 「コメント 吉成直樹『沖縄久高島祭祀にみる世界観』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第16号第2号, pp. 223-227.
- 1986 「バルーチスタン調査行 1985」『神院大学内報』, 神戸学院大学庶務課, 第195号, pp. 7-10.
- 1992 「家畜」「バローチ」「牧畜」辛島 昇ほか 監修『南アジアを知る事典』, 平凡社(東京), pp. 147-148, 571-572, 670.
- 1992 「家畜化」「過放牧」『環境教育事典』, 東京堂出版(東京), pp. 24-25, 27.
- 1992 「那覇のヤマモモ売り」「沖縄のパバイヤ」「砂漠の野生の果実, カイルとペルー」「砂漠のめぐみ, カフル」「砂漠に生きるコビトヤシ」「母木からつくられるナツメヤシ林」松山利夫・山本紀夫 共編著『木の実の文化誌』, 朝日新聞社(東京), pp. 42-46, 104-106, 109-116.
- 1995 『琉球列島における宗教施設の構造と空間配置を手がかりとするエスノ・ヒストリーの研究(課題番号: 05610247)』平成6年度科学研究費補助金[一般研究(C)]研究成果報告書,

iii+64 pp.

- 1996 「文化人類学案内」『星光』, 大阪星光学院, 第45号, pp. 18-25.
- 1998 「アフガニスタン」大林太良ほか編『民族遊戯大事典』, 大修館書店(東京), pp. 210-216.
- 2001 『アジア・オセアニア・アフリカ地域における自然とかかわる文化的プラクシスの通文化的研究——とくに自然観と生業活動について——(課題番号: 10610299)』平成10年度～平成12年度科学研究費補助金[基盤研究(C)(1)]研究成果報告書, iii+265 pp.
- 2002 (編集・司会・討論)『人間-環境系ニューズレター』東京大学東洋文化研究所広域連携研究プログラム「アジア的人間-環境系モデルの構築と実践的研究」事務局, 第1号, 16 pp.; 2号, 40 pp.; 3号, 16 pp.
- 2003 (編集・司会・討論)『人間-環境系ニューズレター』東京大学東洋文化研究所広域連携研究プログラム「アジア的人間-環境系モデルの構築と実践的研究」事務局, 第4号, 12 pp.
- 2006 「遊牧民の暮らし」文化学園服飾博物館 編『西アジア・中央アジアの民族服飾——イスラームのヴェールのもとに——』, 文化出版局(東京), pp. 97-102.
- 2009 「論説空間 パキスタン辺境」『東京大学新聞』, 1月20日, 第5面。
- 2010 「『日韓文化交流と柳宗悦』を司会して」『民藝』, 日本民藝協会, 693号(9月号), pp. 53-55.
- 2011 「座談会報告『日本民藝館の役割』」『民藝』, 日本民藝協会, 第707号(11月号), pp. 4-6.
- 2012 (窪田幸子と共編著)『アジア工芸の〈現在〉——工芸と人類学の基礎研究——』東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター共同研究報告, 70 pp.
- 2013 「旅苞がたり 連載第1回『幸福のエチオピア』から」『目の眼』, 里文出版(東京), 436号(1月号), pp. 58-61.
- 2013 「旅苞がたり 連載第2回 光と色のラージャスターン」『目の眼』, 里文出版(東京), 437号(2月号), pp. 62-65.
- 2013 「旅苞がたり 連載第3回 ラージャスターンの銀の装身具」『目の眼』, 里文出版(東京), 438号(3月号), pp. 82-85.
- 2013 「旅苞がたり 連載第4回 民俗のヨーロッパ」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 439号(4月号), pp. 52-55.
- 2013 「旅苞がたり 連載第5回 つながりとしての沖縄民藝」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 440号(5月号), pp. 54-57.
- 2013 「旅苞がたり 連載第6回 バンコクに始まる」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 441号(6月号), pp. 48-51.
- 2013 「旅苞がたり 連載第7回 花綵のインドネシア」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 442号(7月号), pp. 62-65.
- 2013 「旅苞がたり 連載第8回 インテリアのレッスン」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 443号(8月号), pp. 58-61.
- 2013 「旅苞がたり 連載第9回『物をばくばくと』」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 444号

- (9月号), pp. 56–59.
- 2013 「旅苞がたり 連載第10回 古物のワンダーランド」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 445号(10月号), pp. 62–65.
- 2013 「旅苞がたり 連載第11回 リチョウ? ノー・モア!」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 446号(11月号), pp. 74–77.
- 2013 「旅苞がたり 連載第12回 さらなる旅へ」『目の眼』, 株式会社目の眼(東京), 447号(12月号), pp. 68–71.
- 2014 「生業, 生産, 労働」「工芸と職人」国立民族学博物館編『世界民族百科事典』, 丸善出版株式会社(東京) pp. 400–401, 414–415.
- 2015 「民芸」「民芸品」木村茂光ほか編『日本生活史辞典』, 吉川弘文館(東京), 頁数未定.

VI 書評・紹介・解説など

- 1975 「書評 J.L. ピーコック A.T. カーシュ 共著 水野浩一 訳『社会発展と近代化——社会・文化人類学的の接近——』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第6巻第3号, pp. 185–187.
- 1976 「書評『知里真志保著作集 別巻I——分類アイヌ語辞典植物編・動物編——』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第7巻第4号, pp. 237–241.
- 1978 「解説」R. ニーダム 著 三上暁子 訳『構造と感情』, 弘文堂(東京), pp. 182–197.
- 1978 「書評 更科源蔵・光 共著『コタン生物記 第I章 樹木・雑草篇, 第II章 野獣・海獣・魚族篇, 第III章 野鳥・水鳥・昆虫篇』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第9巻第3号, pp. 243–245.
- 1978 「書評 A. シュッツ『現象学と社会の学——他我認識の問題——』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第9巻第4号, pp. 224–226.
- 1980 「談叢近代日本関係洋書(一) Douglas Sladen. *Queer Things about Japan*. London: Anthony Treherne & Co., Ltd., 1904.」『人文学報』, 京都大学人文科学研究所, 第48号, pp. 144–147.
- 1980 「書評 J. スペイン著『シルクロードの謎の民——パターン民族誌——』」『歴史公論』, 雄山閣出版(東京), 第6巻第6号, p. 166.
- 1981 「談叢近代日本関係洋書(二) William Gray Dixon. *The Land of the Morning*. Edinburgh: James Gemmell, 1822.」『人文学報』, 京都大学人文科学研究所, 第49号, pp. 202–205.
- 1981 「書評 S. ギーディオン 著『機械化の文化史——ものいわぬものの歴史——』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第11巻第4号, pp. 262–264.
- 1982 「書評 山本福義・南雲藤治郎述 共編著『山と獵師とケモノたち』, H. デンベック 著 小西正泰・渡辺清 共訳『狩りと人間』, 澤田瑞穂 著『中国動物譚』, 洪澤龍彦 著『幻想動物誌』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第12巻第2号, pp. 222–227.
- 1982 「書評 中本正智 著『図説 琉球語辞典』」『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社

- (東京), 第13巻第4号, pp. 254-256.
- 1983 「書評 坂本賢三 著『「分ける」と「わかる」こと』』『季刊人類学』, 京都大学人類学研究会, 講談社(東京), 第14巻第2号, pp. 225-235.
- 1984 「書評 波平恵美子 著『病気と治療の文化人類学』』『正論』, サンケイ出版(東京), 第136号(6月号), pp. 172-173.
- 1989 「書評 須藤健一・山下晋司・吉岡政徳 共編著『社会人類学の可能性 I 歴史のなかの社会』』『民族学研究』, 日本民族学会, 第53巻第4号, pp. 421-424.
- 1991 「書評 周達生 著『東アジアの食文化探検』』『産経新聞』, 7月25日。
- 1992 「書評 松原正毅 著『遊牧民の肖像』』『民博通信』, 国立民族学博物館, 第56号, pp. 9-13.
- 1994 Book Review Paul Michael Taylor: The Folk Biology of the Tobelo People. *Anthropos*, vol. 89. nos. 1-3, pp. 317-319.
- 1994 「書評 福井勝義『認識と文化』』『民族学研究』, 日本民族学会, 第58巻第4号, 408-410 pp.
- 1995 「解題 文化としての民藝」式場隆三郎編『琉球の文化(復刻版)』, 榕樹社(宜野湾), pp. i-xiv.
- 1996 「詩集『南島語彙集』に寄せて」伊良波盛男 著『南島語彙集』, 銅林社(東京), pp. 167-170.
- 1999 「書評 阪本寧男・落合雪野 共著『アオバナと青花紙——近江特産の植物をめぐって——』』『民博通信』, 国立民族学博物館, 第84号, pp. 24-27.
- 1999 「書評 フレドリック・バルト 著 子島 進 訳『スワート最後の支配者』』『地域研究スペクトラム』, 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科連関地域論講座, 第2号, pp. 68-70.
- 2000 「序」松井 健 編著『東洋文化 第80号 インド亜大陸の宗教・民族紛争』, 東京大学東洋文化研究所, pp. i-iii.
- 2002 「序——開発と環境の文化学のために——」松井 健 編著『開発と環境の文化学——沖縄地域社会変動の諸実態——』, 榕樹書林(宜野湾), pp. 1-9.
- 2006 「解説 西南アジア」松井 健・堀内正樹 共編著『講座 世界の先住民族 ファースト・ピープルの現在 第4巻 中東』, 明石書店(東京), pp. 240-249.
- 2011 「書評 楊海英 著『墓標なき草原——内モンゴルにおける文化大革命・虐殺の記録』(上)(下)」『文化人類学』, 日本文化人類学会, 第76巻第2号, pp. 208-211.
- 2011 「六つの対話へのプロムナード」濱田琢司ほか 著『サヨナラ, 民芸。こんにちは, 民藝』, 里文出版(東京), pp. 2-17.
- 2012 「書評 高倉浩樹・曾我亨 共著『シベリアとアフリカの遊牧民——極北と砂漠で家畜とともに暮す——』』『図書新聞』, 第3080号(9月29日号), 第4面。

VII 映像制作など

- 2000 『沖縄の焼物——伝統の現在——』国立歴史民俗博物館 1999年度 民俗研究映像記録フィ

ルム，90分。

- 2010 『ニューギニアの民藝』ブックレット「工芸の人類学」〈I〉，東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室，23pp. 17pl.
- 2011 『金城次郎の仕事』ブックレット「工芸の人類学」〈II〉，東京大学東洋文化研究所 松井 健研究室，31pp. 15pl.